

めざすはストップ地球温暖化

取材日：平成22年（2010年）8月26日

【活動目的】

3年前から成人・子供を含め幅広く「温暖化防止」活動を行っている。

- ① 市民として地球温暖化防止活動の実践
- ② 県、市、各種団体等が行う事業に協力
- ③ 地球温暖化防止についての研修会、出前講座、講師派遣
- ④ 行政、市民、企業などに対し提案・提言
- ⑤ 地球温暖化防止についての、自己研さん・調査

27名の志を持ったメンバーが公民館を中心に非常に活発に活動中。



手回し発電機の実験(環境フェアにて)

4年目の平成22年度の活動方針は

- ①小学生・子どもに対する啓発活動強化（夏休みこども環境講座など）
- ②出前講座事業の充実（緑のカーテン講座、自治会、学校などへ進出など）
- ③フェア・イベント事業の充実（環境フェア、生き生き展、塚田環境フェアなど）
- ④組織の充実（新会員リクルートで会員増など）
- ⑤ツール・備品の充実（模型、道具、実験グッズなど）
- ⑥地産地消の体験（米づくりなど）

自治会・学校へも拡大の計画でボランティアメンバー募集中。

【支援金事業内容】（支援対象経費総額 257,873 円 支援金確定額 200,000 円 支援率 77.56%）

体験学習を通じて地球温暖化防止の現状を知ってもらい、子ども及びその家族にできる温暖化防止対策を行ってもらうことを目的に、習志野台児童ホームにて「こどもエコ教室」を開催。

子どもたちが「地球温暖化の現状」を知り、感じ、自発的に生活の中で地球温暖化防止行動がとれるようになることを目指し、プログラムは

- ①DVDにて地球温暖化の実態、恐さを知ってもらう。
- ②太陽光を利用したソーラークッキングの体験。このタイヨウポップコーン作りは子供たちが非常に喜んだ。
- ③未来は変えられる—説明とクイズ問答
- ④手回し発電機で電灯（豆電球）をつける・風力発電機でオルゴールが鳴るなど体験
- ⑤燃料電池自動車の説明 など

支援金の用途は下記

1. 太陽電池・燃料電池による新エネルギーカー
2. ミニ風力発電機
3. 展示写真、パネル
4. LED、蛍光灯、電球の消費電力比較セット
等々たくさんの不思議グッズの制作 ほか



子どもたちに大人気のタイヨウポップコーン作り

【活動の現場から】

夏休みこども教室「地球温暖化から未来を守ろう」を見学（平成22年8月26日、於中央公民館）約10名のメンバーが、約20人の小学4～6年生に熱く語りかける105分は、有意義な時間であった。

- ①まずはDVDで10分間、北極グマの窮状を岩合光昭の美しい映像で訴える
- ②次は配られていた「こども環境白書」（地球温暖化）をもとに炭酸ガスなどの温室効果ガスの話。経済活動との関連など難しいところもあった。
- ③実験の体験学習は「人間電池を作ろう」というユニークな試み。こどもの夏休み自由研究になりそう。
- ④まとめのグループワークでは各自回答したアンケートをもとに、一人ひとり何をしているか、すべきかを考える。アースドクターメンバーの巧みな誘導により、子供たちは頭の中を整理できたようである。

中味も時間配分も良く考えて進行されていた。4年生も多く、みな熱心。6年生はさすがに理解が早い。付き添いの母親も楽しんでいるようであった。近場の船橋小の参加が多いのは当然としても遠い葛飾小などからも参加があり、皆楽しんでいた。

“めざすはストップ地球温暖化”をスローガンに掲げるだけあって大人も楽しめる子どもへの出前講座であった。



真剣な表情の子どもたち

【団体へのインタビュー】

アースドクターふなばし舛田代表ほか団体メンバーにインタビューした。

『今日のイベントは中央公民館の協力もあって20名前後の小学生が常に参加し4回とも楽しく交流・勉強ができました。これからは町会や学校への活動を広げていきたい。そのためにも船橋市の活動支援はありがたい。町会は船橋市自治会連合協議会を通じて活動提案をしているが、個別自治会にもアプローチしています。学校も簡単ではなく、まず個人的関係から開拓する。どこも、信用がつかと同種他団体のその後の受け入れが簡単になる。』

市民1万人につき一人の会員、すなわち60人くらい欲しい。情熱のある人なら誰でも会員になって欲しい』

関わり先（連絡担当者） アースドクターふなばし 事務局長 金尾 裕文 TEL：047-465-3827
--